

菊池はひとつ!

【ご挨拶】



令和七年度

菊池郡市PTA連絡協議会

会長 川村里伊

令和七年度、菊池郡市PTA

連絡協議会会長を務めておりま

す、合志楓の森小学校PTA会長の川村里伊です。日頃より、各单位PTAの皆さまには、子どもたちのため、そして地域のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

近年、PTA運営を取り巻く環境は大きく変化しています。共働き家庭の増加や担い手不足、価値観の多様化など、各校が抱える課題は決して少なくありません。そのような中で、「PTAは何のためにあるのか」「どのような形が子どもたちのためになるのか」を、私たちは改めて考える時期にきていると感じています。

今年度、菊池郡市PTA連絡協議会では「菊池はひとつ」というスローガンを掲げ、活動してまいりました。この言葉には、学校や地域の違いを越え、同じ想いで子どもたちを支えていこうという願いを込めています。一校では難しいことも、郡市としてつながること、新たな可能性が生まれると信じています。

この一年間、各エリアを訪問し、多くの皆さまと直接お会いできたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。現場で工夫や努力を重ねておられる皆さまの声に触れ、「菊池はひとつ」という言葉が、確かな実感として心に残る一年となりました。

最後に、私の好きな言葉を紹介させていただきます。「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」

この言葉のように、これからも皆さまと共に一歩を踏み出し、学び合いながら、子どもたちのより良い未来につながるPTA活動を築いていきたいと思えます。

今後とも、菊池郡市PTA連絡協議会へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

▼菊池郡市PTA連絡協議会・研修会レポート

演題「全ての人や機関がつながり 個々の持っている力を発揮する」

講師 認定NPO法人 優里の会理事長

黒田信子氏

令和七年九月六日、大津町生涯学習センター大会議室にて、菊池郡市PTA連絡協議会の会員研修会が開催されました。

今回の研修では、児童虐待の現状や統計、影響や起因について学ぶとともに、関係機関の役割や連携の大切さについて理解を深めました。



講師の先生からは実際に寄せられた相談や事例の紹介もあり、保護者・教職員・地域それぞれの立場で何ができるのかを改めて考える良い機会となりました。また、「ジエノグラム」という手法を用いて家庭の課題を整理・解決していく方法を学んだほか、「親の学び」としてすぐろくを活用したワークにも取り組みました。

参加者同士が意見を交わすことで、新たな気づきやコミュニケーションの大切さを実感できました。

今回で二度目となる研修会でしたが、今後の課題として、PTA役員だけでなく一般会員の皆さんにも気軽に参加いただける研修会にしていくことが必要だと感じています。

人間関係が希薄になりがちな時代だからこそ、PTAは保護者同士のつながりを育む場として、その在り方を工夫していくことが大切だと考えています。

今後とも、皆さまと共に学び合い、子どもたちを支える活動を進めてまいります。

大津北中PTA会長 城本貴文

▼熊本県PTA研究大会あまくさ大会レポート

第2会場 天草市民センター「体育館」

■実践活動1「子どもの姿勢が集中力と健康を変える」(公財)運動器の健康・日本協会認定スクールトレーナー 水田順司氏

■講演・実践活動2「整える力が未来をつくる」

トッパスリートに学ぶ親子のコンディショニング、講師 池田めぐみ氏(元フェンシング日本代表)

今年度行われた第五十一回熊本県PTA研究大会あまくさ大会に参加させて頂きました。天草では、8月豪雨による爪痕も残る中、実行委員さんや会員さん達が一生懸命大会を盛り上げてました。私が参加した第二分科会では、「子どもの姿勢」や「整える力」が、集中力や健康、日々の生活に深く関わっていることを、講演と実践を通して楽しく学ぶことができました。水田氏による実践活動では、家庭でも無理なく取り組める簡単な運動を体験し、普段の姿勢を少し意識するだけでも心や体が変わることを実感しました。また、池田めぐみ氏の講演では、「整える力」は子どもだけでなく親にとっても大切であることが語られ、深く心に残りました。



続いて行われたアトラクションでは、稜南中学校の「天草ハイヤ」と苓北中学校の「天領太鼓」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。力強く息の合った演舞からは、日頃の練習の成果や仲間との絆が感じられ、地域の伝統文化を受け継ぐ子どもたちの頼もしい姿に、天草の魅力と未来への希望を感じました。今回の学びを家庭や学校、PTA活動の中でも大切にしていきたいと思えます。

合志楓の森小学校PTA会長 川村里伊

▼日本PTA九州ブロック研究大会レポート

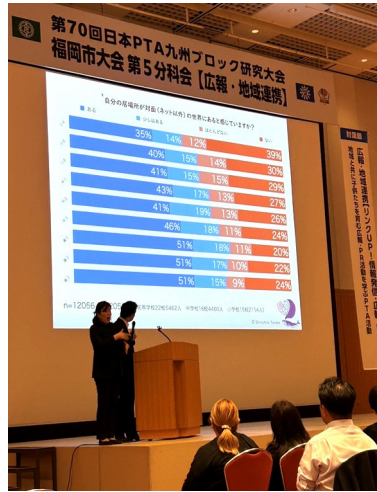
第七〇回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会
第5分科会「地域と共に子供たちを育む広報」

PR活動を学ぶPTA活動」

講師 熊本市立出水南中学校 田中慎一朗校長

熊本市立出水南中学校 田中慎一朗校長先生による「こともまんなか社会における学校とPTAの役割」という講演は、長年いじめや不登校、こどものインターネット利用についての問題に取り組み続けている観点からのお話でした。

田中校長先生は、現代の子どもたちは「孤立」している課題がある、と指摘された。また、保護者においても「孤立」している問題があるといわれました。



昨今はどうしてもPTAが疑問視されがちだが、本来は「保護者と教職員が協力して活動する」会です。家庭と学校の連携はとても重要であり、子どもは親の所有物ではなく、社会全体で育てる「私たちの子ども（Our children）」という意識を、PTAと学校が共有することが大切である。そのための機能を3つ紹介されました。

- ・ 共助機能：子育ての葛藤を分かり合う。
- ・ 監督機能：子どもたちの「困りごと」に対して、意見を述べる（親の意見）。
- ・ 教育機能：PTA主催で、学校だけでは実現できない貴重な体験の提供（伝統・技術体験、講話等）。

確かに、気薄になってきている地域との交流も、またPTAにとって大事なことで私は思っています。学校、家庭、地域を「繋ぐ活動」ができるのも、PTAの強みであるのだから、その活動を子ども達に見せて、体験させて安心安全な社会で自分たちは見守られているから大丈夫、と自信を持つ

てほしいのです。

孤立する子どもや保護者が一人でも少なくなり、相談できる場所に気がついていただけたら、と切に願います。

武蔵ヶ丘中学校PTA副会長 上田良子

☆受賞おめでとうございます☆



第七〇回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会にて、菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA副会長の上田良子さん（写真右）、前菊池郡市PTA連絡協議会会長の前村悠樹さん（写真左）、前熊本県PTA連合会会長の山口法子さん（写真中央）が受賞されました。

▼第七十三回日本PTA全国研究大会レポート

能登の教訓から学ぶ！PTAが地域と築く

「命の防波堤」と新たな役割

「PTAが子どもたちの安全と

学びを支える役割とは」

先日、石川県で開催された第七十三回日本PTA全国研究

大会は、この問いに向き合う場となりました。能登の教訓を踏まえ、私たちPTAが今、子どもの安全と未来のために何をすべきかを考えさせられました。

大会初日、分科会で基調講演に立った輪島市教育長の小川正先生は、想定外の地震で初動が困難だった

実態や、日頃の防災訓練により中学生が避難所運営を支えた事例を紹介しました。先生は、「顔の見える関係」が災害時の力になると強調。この教訓に基づき、地域から誰一人として犠牲者を出さない「心の防波堤」を築く防災教育の推進、そしてPTAが学校・地域・行政と連携し、避難訓練や避難所運営訓練を一体で行う重要性が提言されました。

一日目の全体会では、浅野大介副知事が、教育DXと「能登の創造的復興」について講演。奥能登を丸ごと「学校」と見立て、地域連携やオンラインを活用し「先生や先輩」を連れてくる「未来の地球学校プロジェクト」を紹介しました。地域の文化やPTAの人脈が、未来の学びを広げる鍵となることが示されました。

本大会は、能登の教訓を踏まえ、PTAが子どもの安全と、未来の学びを支えるという「新たな役割」を再確認する機会となりました。私たち武蔵ヶ丘中学校PTAでも、県PTA連合会の委嘱金を活用し、学校の図書室に、防災図書コーナーを設置しました。みんなで、命を守るための学びを深め、防災への意識を共有しています。

武蔵ヶ丘中学校PTA副会長 池裕子



オープニングアトラクションの鶏浦太鼓

菊池郡市P連 二市二町

各エリア紹介コーナー

菊池市PTA連絡協議会

■学校数・五中学校、九小学校
■会員数三、〇八三世帯



菊池っ子60運動

～ 基本的生活習慣・健やかな体の育成のために～

生活リズムの育成	運動習慣の育成	学習習慣の育成
ぶんかん うんどう 60分間の運動 1日60分間の運動をしましょう ・学校への登下校で歩く ・体育の授業・部活動・クラブ活動 ・歌を歌う・楽器の練習 ・屋外で遊ぶ・自転車に乗る ・散歩やジョギング・家の掃除	ぶんまいきしょう 60分前起床 家を出る60分前に起きましょう ・洗面、歯磨き ・朝ごはんを食べる ・排便する ・忘れ物がないかチェックする	ぶんまいえ 60分前にスマホをあずける 寝る前のスマホやゲーム等は睡眠の妨げになります。寝る60分前には保護者に預けましょう ・明日の準備をする ・歯磨き ・就寝の準備
ぶんかん スマホやゲームは60分間まで スマホやゲームを長時間すると依存症になります。健康の維持、精神の安定のために長時間の使用はやめましょう ・自分でよく考えて、時間を決める ・決めた時間を家の人に伝える ・自分で決めたことは守る	ぶんかん かいわ 60分間の会話 家族との会話を1日60分間はしましょう ・あいさつ・会話とだんらん ・学校の出来事を話す ・教科書の首読を聞く ・車の中での会話 ・歌や楽器の演奏を聴く	ぶんかん かいがく 60分以上の家庭学習 (小学校高学年以上) 学年×10分+10分の時間は家庭学習をしましょう ・宿題・予習・復習 ・自主学習・読書 ・調べもの、まとめる ・自分の考えや感想を書く など

(主催) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 (実施団体) 菊池市教育委員会・菊池市小中学校長会・菊池市PTA連絡協議会・菊池市幼児保育等小中連携推進協議会

合志市PTA連絡協議会

■学校数・四中学校、八小学校
■会員数五、六八七世帯



菊池市では、子供たちの基本的生活習慣、健やかな体の育成のために菊池っ子六〇運動に取り組んでいます。

菊池市PTA連絡協議会

市PTAでボウリング大会を開催しました。みなさん楽しく参加されました。

合志市PTA連絡協議会 川村里伊

菊陽町PTA連絡協議会

■学校数・二中学校、六小学校
■会員数三、一六五世帯

子どもたちの笑顔のために！手と手が繋ぐ未来へ！

6月に開催した教育懇談会は、PTA、学校、教育委員会など、子どもたちを支える関係者が一堂に会し、親睦を深める貴重な機会となりました。恒例の「全員で手を繋ぎ、輪になって万歳三唱」の締めくくりは、今年も会場が一体となり大盛り上がりでした。この最高のフィナーレは、私たち親・学校・地域が目指す温かいコミュニティの姿そのものだと思います。

さて、この「繋がり」の輪を大切にしてきた当町から、長きにわたり活動に貢献してこられたお二人のPTA仲間が、この度、九P表彰を受けられました。長年のご尽力を見てきた者として、その功績が認められたことは誠に感慨深く、心より敬意を表します。

この感動的な「繋がり」の輪を活動の原動力としつつ、現在、当町では、今後のPTA組織のあり方について熱心に議論を重ねています。PTA活動の原点に立ち返り、「単Pが子どもたちのために行うPTA活動を、町Pが「繋がり」の輪で支えあう」といった、繋がりをメインにコンパクト化することを検討しています。

これからも、この大切な「繋がり」の輪を通じて、私たち親・学校、地域がしっかりと連携し、子どもたちの笑顔を守っていきましょう！

武蔵ヶ丘中学校PTA副会長 池 裕子



大津町PTA連絡協議会

■学校数 二中学校、七小学校
■会員数 三、二二三世帯

大津町PTA連絡協議会は、二中七小学校で構成されており、二十五名ほどで活動しております。

八月に開催された「大津地蔵まつり」に出店し、たくさん子ども達や保護者の皆様方と接する機会がありました。今年度はスポーツスタッキングの体験会やうちの制作会を催しました。生憎の雨でしたが、たくさんの方の参加もあり、好評をいただきました。

二月には「子育てフェスタ」を開催しています。今年度は「輝くあなたが主役です」をテーマに新聞紙アートの触れ合う企画を行いました。彫刻家の東耕平様を講師にお招きし、作品作りにもアドバイスをいただきましたながら、新聞紙

アートの世界で思い思いの作品が出来上がりました。また、中学生ボランテアを募り、ひとりひとりが輝く素敵なイベントとなりました。

これからも本会は、新しい取り組みや時代の流れに合ったPTA活動を行い、家庭・学校・地域との連携を深めながら「子どももまんなか」で活動していきたいと思っています。

美咲野小学校

PTA会長

西口加奈恵



こんな時、安心です!



◀給付について
「たとえば
こんなときに…」

P災コース 児童・生徒

中高生が、自転車通学中(学校の許可有り)に、左折車に巻き込まれ、負傷した
(P災コース・交通事故共済金)

児童・生徒の登下校時の交通事故による死亡・後遺障害(学校管理下)
(P災コース・死亡、後遺障害共済金)

部活動中に打撲により前歯が2本破折したため、保険外の歯科補綴治療が必要になった
(P災コース・歯科特別共済金)



PTA共済金 給付の例

安互コース保護者(PTA会員)

中体連主催の試合に出る中学生を会場まで自家用車で送った際に、信号待ちで停車中に追突され、運転していた母親が負傷した
(安互コース・交通事故共済金)

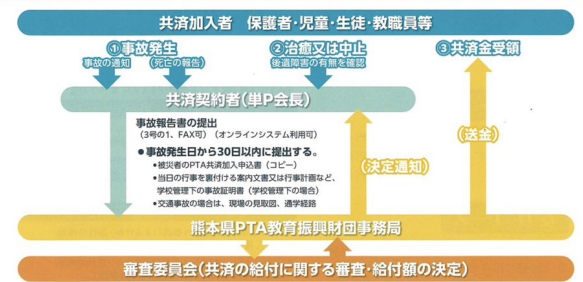
PTA保護者会員が、運動会の準備のため、テント設置をした際、手をはさみ負傷した
(安互コース・負傷共済金)



小学校の授業参観に参加したPTA保護者会員が、校内の階段から転落して骨折した
(安互コース・負傷共済金)

PTA主催のミニバレー大会の練習中にPTA保護者会員がアキレス腱を断裂した
(PTA活動)
(安互コース・負傷共済金)

災害発生から給付までの流れ



詳しくはホームページをご覧ください
★手続きは各学校PTA共済担当者へご連絡ください。

(財)熊本県PTA教育振興財団

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町
3-7 熊本県総合福祉センター4F



ホームページ

熊本県PTA共済

検索

令和7年度 菊池郡市PTA連絡協議会役員名簿

役職名	所 属	氏 名
校長理事	隈府小	芹川 博文
〃	合志楓の森小	佐藤 政臣
〃	美咲野小	西 和佳子
〃	武蔵ヶ丘小	小崎 由郎
参 与	菊池教育事務所	松永 武
顧 問	菊陽町	笠 正子
〃	合志市	野田 博之
事務局長	菊池市	山口 法子
監 事	北部	木村 周平
〃	西部	池田 浩史
〃	東部	前村 悠樹

役職名	単 P 名	氏 名
会 長	合志楓の森小	川村 里伊
副 会 長	七城中	岩下 尚史
〃	大津北中	城本 貴文
〃	菊陽南小	東 竜佑
理 事	旭志小	江上 礼彦
〃	西合志南小	大久保 稔
〃	美咲野小	西口加奈恵
〃	旭志中	村上 正樹
〃	合志楓の森小	中島 由貴
〃	西合志南小	松葉 章代
〃	大津北中	竹原華世子
〃	美咲野小	榮 美保
〃	武蔵ヶ丘中	湯浅 奈未
〃	武蔵ヶ丘中	池 裕子
〃	武蔵ヶ丘中	上田 良子
〃	菊池南中	福田 政隆
〃	合志中	川畑 愛子

今年度もPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました!

令和8年度も菊池郡市PTA連絡協議会をよろしく
お願いいたします。 “菊池はひとつ!”